

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 関高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月15日(木) 14時00分～15時50分
- 3 開催場所 関高等学校校長室
- 4 参加者

会 長	大野 正博	朝日大学法学部 教授
副 会 長	福田 恵介	福田刃物工業株式会社 取締役
委 員	平田 久美子	平田建設株式会社取締役
	衣斐 七海	関市 産業経済部観光課
	村井 義史	本校 同窓会 副会長(欠席)
	和田 誠司	本校 P T A会長(欠席)
学 校 側	武田 理	校長
	関谷 篤	教頭
	小島 和秀	教頭
	大野 仁史	事務部長
	川原 正史	教務主任
	杉山 広之	生徒指導主事
	片桐 良子	進路指導主事
	林 直樹	研究推進部長
	松野 恭太	特別活動部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) スクール・ポリシー、教育指導の重点及び学校経営計画について

意見1:「主体的に」とか、「自ら考えて」という教職員の説明が多く、生徒や学校が良くなっていることが感じられる。言われたとおり従うだけでなく、自分で考えて進んでいくことは学校として大変良い方針である。

意見2:行事(活動)がどんどん増えてきている。その経験は直接生かされるとは限らないが、自分でやってみるというマインドを育てる意味で大変良いことである。

意見3:本校は年々ブラッシュアップされていると感じる。教職員が大変細かいところまで配慮されていることがよくわかる。本校は学力幅があるということだが、その幅を生徒の多様性として指導されていることは素晴らしいことである。

(2) 教務・生徒指導・進路・特別活動・F R H(地域共創フラッグシップハイスクール)活動について

意見1:自転車運転時のヘルメットの着用が義務ではなく、努力目標であるにもかかわらず新入生が50名余着用できていることは素晴らしい。どれだけ注意していても事故は起こってしまうものであり、子どもたちがそのような場面に遭遇したとき、一人でも対応し対処できる力を身に付けさせて欲しい。

意見2:通学時の制服についてのルール作りなど、生徒が主体的に進めている。校則などを生徒が決めて失敗しても、修正しながら取り組んでいけばよい。その経験が重要である。本校の生徒会の取り組みが関高校モデルとして他の学校にも見本になるとよい。

意見 3 : 昨今、闇バイトの原因がスマホ依存症であることが多いと聞くので、高校でもスマホをどのように活用していくかを指導すべきである。

意見 4 : 生成 AI について、高校としてはその使用方法についてどのような認識なのか。スマホ同様適切な使用方法を検討して、生徒に示すべきではないか。

⇒スマホ同様、禁止とはできないので、適切な使用方法を検討します。

意見 5 : 3 年生の途中まで一般選抜を目指してきて、急に年内入試の総合型選抜や推薦型選抜に対応できない生徒がいると聞いている。生徒への早めの年内入試の説明が必要である。

意見 6 : 大学に入学して何が学びたいかが明確でないために、大学入学後のミスマッチが多いと聞きます。そのような意味で、推薦型選抜や総合型選抜は何が学びたいか明確な生徒が多い。大学に入って何がやりたいのかを明確にして進学させることが望ましい。

意見 7 : 子供の受験は本当に大変である。保護者として、推薦型選抜や総合型選抜について知識があれば、もっと良い受験できたかもしれない。試験には勉強が必要だが、体力も絶対的に必要である。体力はメンタルにもつながるので、勉強には体力が必要であり、健全な精神力があってこそ受験に向かっていける。このようなことも保護者にも伝えてほしい。

(5) その他

意見 1 : 中学生への本校紹介ビデオであるなら、英語より日本語を使って理解できるように伝える方がメッセージを伝えやすい。中学生向けに作成された高校 PR 動画について、動画に出てくる写真が学校外で活動している写真やワークショップをしているような写真が多く、よくある高校紹介の動画ではない、本校ならではの強みを感じられる動画でよい。

意見 2 : 最後の高校生のコメント“関高校ではなんでもできる”が印象的で、高校の外にも学びの場があることを感じてもらえる動画である。高校生のコメントは、英語にすると進学校らしさが出るので、その要素を重要視する学生のことも考慮して、動画に限らず、高校自体のプロモーションは従来の進学校としての面と探究活動に精力的な面のバランスが重要である。

意見 3 : ここ数年で若者事業に携わる様々な機関（民間企業、NPO、大学等）が抱える課題と強みが浮き彫りになってきた今、互いに共有し補いあっていく関係性が必要であると感じている。理想論ではあるが、関市というエリア全体でより多くの若者の興味関心に合った受け皿を作っていくために連携は引き続き必要だと感じている。

意見 4 : 今年度の特徴として不登校の生徒が多いとのことであったが、コロナの影響も考えられるのか。不登校の生徒に対して丁寧に対応してほしい。

6 会議のまとめ

第 1 回の学校運営協議会では、スクール・ポリシー、教育指導の重点及び学校運営計画、各分掌の今年度の方針と重点について学校職員から説明したうえで、協議した。スクール・ポリシーや探究活動等の本校の取組について高い評価が得られたとともに、全委員より今年度の本校の学校経営方針について承認が得られた。